

# 眼科

大鳥安正

大阪の中心に位置していることから、近畿圏における主要な基幹病院として病診連携・病病連携の重要性を認識し、紹介元と緊密に連絡を取るようしており、特に緑内障・網膜硝子体疾患においては多くの難治性疾患を受け入れ、最終病院として機能しています。各医員は白内障以外に専門分野を標榜しており、情報収集も怠らず、最新で質の高い医療を提供することを心がけています。また、当科は平成 22 年度より日本眼科学会の定める眼科研修プログラム施行施設（基幹研修施設）に承認されており、厚生労働省の政策医療感覚器ネットワーク機関としても全国の他施設共同研究に参加しています。

平成 23 年 4 月から 24 年 3 月の眼科における総手術件数は総計 1679 件でした。

**白内障**：白内障手術件数は最も多く、平成 23 年度の白内障手術件数は 975 件でした。入院には片眼 6 日間、両眼 7~10 日間の通常入院のほか、1 泊 2 日入院も選択可能です。白内障手術の待ち期間は平均 1 か月程度です。**緑内障**：原発開放隅角緑内障は薬物療法が第一選択ですが、薬物療法で眼圧下降が十分でない場合には外科的治療（線維柱帯切除術が主流、発達緑内障やステロイド緑内障には線維柱帯切開術を選択、平成 23 年度の緑内障手術件数 218 件）を行っています。また、難治な血管新生緑内障に対しても積極的に線維柱帯切除術を行っています。隅角検査のみならず超音波生体顕微鏡、前眼部光干渉断層計などを用いることで、閉塞隅角緑内障の診断・治療を厳密に行っています。**網膜・硝子体手術**：増殖糖尿病網膜症、増殖硝子体網膜症、網膜剥離、黄斑部手術などを中心に積極的に行っています。平成 23 年度には硝子体手術 383 件、強膜内陥術 15 件が行われ、網膜剥離症例では症例に応じて初診当日入院・当日手術も行っています。硝子体手術は 23 ゲージシステムによる低侵襲硝子体手術を実施し良好な成績を得ています。手術加療だけでなく、外来での網膜光凝固治療や血管新生阻害薬であるアバスタチンや副腎皮質ステロイドであるケナコルト等の眼局所投与による治療も積極的に行っています。**その他（眼形成・翼状片など）**：眼瞼下垂手術 16 件、内反症手術 5 件、翼状片手術 7 件が行われ、その他 60 件の手術が行われました。眼部悪性腫瘍は当院の形成外科と連携しております。**HIV/AIDS**：当院は HIV/AIDS 先端医療開発センターであるため、免疫・感染症内科との連携によりサイトメガロウイルス網膜炎などの AIDS 眼合併症の治療を多数行っています。**角膜**：角膜疾患としては、ドライアイの症例が多く集まり、症状に応じて涙点プラグ挿入、涙点閉鎖を行います。重症例には薬剤部の協力を得て、自己血清点眼薬を自家調整し処方することで良好な成績を得ています。また、他の医療機関で難治性となった薬剤耐性菌感染症やアcantアメーバー角膜炎等の角膜感染症の治療に関しても薬剤部の協力を得て、自家調整点眼薬を処方することで良好な成績を得ています。

## 【2011 年度研究発表業績】

### A-0

Hiratsuka Y, Yamada M, Murakami A, Okada AA, Yamashita H, Ohhashi Y, Yamagishi N, Tamura H, Fukuhara S, Takura T: Eye Care Comparative Effectiveness Research Team (ECCERT). Cost-effectiveness of cataract surgery in Japan. Jpn J Ophthalmol 2011;55(4):333-342. (2011 年 4 月)

Miki A, Oshima Y, Otori Y, Matsushita K, Nishida K. One-year results of intravitreal bevacizumab as an adjunct to trabeculectomy for neovascular glaucoma in eyes with previous vitrectomy. Eye (Lond). 2011;25(5):658-9. (2011年5月)

Lee SY, Usui S, Zafar AB, Oveson BC, Jo YJ, Lu L, Masoudi S, Campochiaro PA. N-Acetylcysteine promotes long-term survival of cones in a model of retinitis pigmentosa. J Cell Physiol 2011;226(7):1843-1849. (2011年7月)

Nakagawa T, Maeda N, Higashiura R, Hori Y, Inoue T, and Nishida K. Corneal topographic analysis in patients with keratoconus using 3-dimensional anterior segment optical coherence tomography. J Cataract Refract Surg 2011; 37(10):1871-1878. (2011年10月)

Usui S, Oveson BC, Iwase T, Lu L, Lee SY, Jo YJ, Wu Z, Choi EY, Samulski RJ, Campochiaro PA. Overexpression of SOD in retina: Need for increase in H<sub>2</sub>O<sub>2</sub>-detoxifying enzyme in same cellular compartment. Free Radic Biol Med. 2011;51(7):1347-1354. (2011年11月)

Usui S, Ikuno Y, Miki A, Matsushita K, Yasuno Y, Nishida K. Evaluation of the Choroidal Thickness Using High-Penetration Optical Coherence Tomography With Long Wavelength in Highly Myopic Normal-Tension Glaucoma. Am J Ophthalmol 2012;153(1)10-16. (2012年1月)

#### A-1

中川智哉：ウエーブフロントアナライザ、眼科の検査・手術機器完全マニュアル：p68-69、メディカ出版、2011年6月

大鳥安正：レーザー線維柱帯形成術、眼科手術学、6緑内障：p302-304、文光堂、2012年1月

#### A-3

森山睦、中川智哉、堀裕一、井上智之、前田直之：前眼部光干渉断層計による円錐角膜と正常眼の前眼部形状の比較、日眼会誌 115(4):p368-373、2011年4月

#### B-2

Usui S, Ikuno Y, Miki A, Matsushita K, Yasuno Y, Nishida K. Choroidal Thickness in Highly Myopic and Non Highly Myopic Normal Tension Glaucoma. ISIE 2011, Fortlauderdale, USA, 2011年4月

Usui S, Maruko I, Ikuno Y, Miura M, Sekiryu T, Nishida K, Iida T. Diurnal Change Of The Subfoveal Choroidal Thicknes. And Its Relationship With Clinical Factors In Normal Healthy Eyes. ARVO2011, Fortlauderdale, USA, 2011年5月

Miki K, Miki A, Usui S, Campochiaro PA. Combination Antioxidant Therapy for Retinitis Pigmentosa (RP).

ARVO2011, Fortlauderdale, USA. 2011 年 5 月

Miura S, Miki A, Matsushita K, Nishida K. Relationships between visual field sensitivity and GCC thickness, RNFL thickness measured by SD-OCT. World Glaucoma Congress 2011, Paris, France. 2011 年 6 月

B-3

大鳥安正：小児緑内障の診断と治療、第 23 回日本小児眼科学会講習会、京都、2011 年 7 月

中川智哉：シンポジウム 12 屈折矯正手術後の視機能を再評価する 「術後視機能の評価法」、第 65 回日本臨床眼科学会、東京、2011 年 10 月

Kuroda S, Ikuno Y, Gomi F, Nishida K : Choroidal changes in central serous chorioretinopathy detected by high-penetration optical coherence tomography、第 50 回日本網膜硝子体学会総会、東京、2011 年 12 月

B-4

濱本亜裕美、黒田聡、森本裕子、中川智哉、臼井審一、渡邊誠樹、數尾久美子、建林美佐子、大鳥安正、上平朝子：大阪医療センターにおける HIV 患者の HAART 導入前後の眼合併症、第 115 回日本眼科学会総会、東京、2011 年 5 月

臼井審一、生野恭司、黒田聡、城友香理、菅野幸紀、小島彰、丸子一朗、中井慶、三浦雅博、石龍鉄樹、飯田知弘、西田幸二：正常眼の中心窩脈絡膜厚 24 時間日内変動と関連する因子、115 回日本眼科学会総会、東京、2011 年 5 月

呉文蓮、松下賢治、臼井審一、三木篤也、西田幸二：前房隅角形状解析装置ペンタカムによる閉塞隅角症疑い (PACS) 症例の長期観察、第 115 回日本眼科学会総会、東京、2011 年 5 月

中川智哉、前田直之、相馬剛至、高静花、辻川元一、大鳥安正、西田幸二：円錐角膜における前眼部 OCT 角膜形状解析とハードコンタクトレンズベースカーブ、第 54 回日本コンタクトレンズ学会総会、京都、2011 年 7 月

臼井審一、生野恭司、黒田聡、森本裕子、安野嘉晃、大鳥安正：線維柱帯切除術前後の脈絡膜厚および眼軸長の変化、第 22 回日本緑内障学会、秋田、2011 年 9 月

中川智哉、大鳥安正、臼井審一、黒田聡、森本裕子、濱本亜裕美、渡邊誠樹、數尾久美子、建林美佐子：前眼部 OCT を用いた線維柱帯切除術後眼の角膜前後面形状、第 22 回日本緑内障学会、秋田、2011 年 9 月

黒田聡、森本裕子、濱本亜裕美、中川智哉、臼井審一、渡邊誠樹、數尾久美子、建林美佐子、大鳥安正：血液透析後の一過性眼圧上昇により視野障害が進行した一例、第 22 回日本緑内障学会、秋田、2011 年 9 月

三浦聡子、相馬剛至、高静花、辻川元一、前田直之、西田幸二：RTVue-100 を用いた角膜移植後の角膜上皮厚の検討、第 65 回日本臨床眼科学会、東京、2011 年 10 月

#### B-5

大鳥安正：緑内障早期診断に必要な視神経乳頭と視野のみかた、第 5 回福岡緑内障カンファレンス、福岡、2011 年 6 月

大鳥安正：緑内障薬物療法ー配合剤点眼薬で何が変わるか？ー、京都眼科医会北部ブロック会、福知山、2011 年 6 月

大鳥安正：緑内障診断：Not only disc, but also macula、姫路市 MF の会 2011、姫路、2011 年 7 月

大鳥安正：早期緑内障：日常臨床での光干渉断層計の応用、近畿眼科オープンフォーラム、大阪、2011 年 8 月

中川智哉：波面センサーを用いた白内障術前スクリーニング、第 17 回大阪眼科手術シンポジウム、大阪、2011 年 10 月

臼井審一：緑内障治療における OCT の有用性、第 2 回わかりやすい OCT 勉強会、大阪、2012 年 1 月

大鳥安正：緑内障診断における OCT の有用性、第 2 回わかりやすい OCT 勉強会、大阪、2012 年 1 月

大鳥安正：求める情報共有（紹介時、逆紹介時）、Pfizer Glaucoma Symposium 2012、東京、2012 年 2 月

大鳥安正：緑内障薬物治療ーよりよい薬物選択をめざしてー、第 34 回京滋緑内障カンファレンス、京都、2012 年 2 月

大鳥安正：前眼部画像解析装置の臨床応用、Retina Glaucoma Club 2012、大阪、2012 年 3 月

#### B-6

臼井審一、生野恭司、黒田聡、森本裕子、安野嘉晃、大鳥安正：線維柱帯切除術前後の脈絡膜厚および眼軸長の変化、第 231 回 OCC、大阪、2011 年 10 月

三浦聡子、臼井審一、黒田聡、濱本亜裕美、中川智哉、渡邊誠樹、數尾久美子、建林美佐子、大鳥安正：晩期濾過胞漏出に対して濾過胞再建を行った 2 例、第 386 回大阪眼科集談会、大阪、2012 年 2 月

三浦聡子、數尾久美子、黒田聡、押田奈都、濱本亜裕美、中川智哉、臼井審一、渡辺誠樹、埜中正博、建林美佐子、山崎麻美、大鳥安正：当院における被虐待児の眼所見、第 232 回 OCC、大阪、2012 年 3 月

B-8

大鳥安正：当院での OCT 使用の実際：どんな患者で OCT を撮り、所見をどう読むか？第 4 回中央区勉強会、大阪、2011 年 5 月

大鳥安正、狩野廉、中村誠、森和彦：インストラクションコース 63、関西緑内障道場、緑内障症例、「なやみの相談室 4」、第 65 回日本眼科臨床学会、東京、2011 年 10 月

大鳥安正：緑内障、富山大学医学部 3 回生学生講義、富山、2012 年 1 月

中村誠、狩野廉、大鳥安正、森和彦：関西緑内障道場：緑内障術後管理の実践講座、第 36 回日本眼科手術学会、名古屋、2012 年 1 月